



# オーセンティック・リーダースクール authentic leader school

授業概要 ・ 担当講師





# エグゼクティブメンターイベント ～リーダーシップの旅に出よう～

第一線でビジネスリーダーとして活躍する、多彩な女性エグゼクティブリーダーをゲストに迎え、エネルギーや本音に直接触れ、自らの内なるリーダーシップの可能性に目覚めるキックオフ講座です。

実際にさまざまな制約を乗り越え活躍している、多様な業界業種の女性リーダーを（ロールモデル）多様なエグゼクティブメンターとして、パネリスト（3名～4名）として迎え、基調講演、パネルセッションと個別に対話できるチーム分科会（グループセッション）を行います。

社会価値の高いビジネスの創造や次世代リーダーに必要な知見やメッセージによりインスパイアすると共に、1人の働く女性として、リーダーとして、等身大のキャリアストーリーや壁の乗り越え方、働き方、生き方、行動をききとり、自らに引き寄せて考える機会となり、多くの気づきや学びを得てゆきます。

- 1) 基調講演
- 2) パネルディスカッション
- 3) グループセッション（分科会）
- 4) 全体シェア

様々な背景の、輝きのあるロールモデルに出会う経験は、視野を広げ、自らに可能性やテーマをもたらします。

自分らしさと価値に気づききっかけとなり、エネルギーがぐんぐん満たされることを肌で感じるでしょう。



【モデレーター】

河北 隆子

**Takako Kawakita**

日本女子経営大学院  
代表理事・学長

1960年東京生まれ。総合オフィスサプライヤー企業、外資系人材派遣企業を経て、組織人材コンサルタントとして独立し、7年にわたり大手自動車会社の組織変革プロジェクトの教育プログラム開発、展開のコアパートナーとして活躍。その後、コーチングプロジェクトCSC代表を経て、2003年組織風土変革支援のイノベーションアソシエイツ株式会社を創業、代表取締役。その後2015年、日本女子経営大学院を創立し、代表理事及び学長に就任。

生涯学習開発財団認定コーチ、GIAL認定シニアアクションラーニングコーチ、ジョージワシントン大学大学院コース修了。日本メンタルヘルス協会心理カウンセラー基礎認定、文部科学省学校力向上教材開発検討委員。企業、教育現場、医療機関、自治体他多様な産業において、人材開発、組織開発、リーダーシップ開発、女性活躍支援などに従事。

人と社会（組織）が循環して起こす、幸福で共創的な日常のイノベーションの創出のために、自由で多様性のあるビジネスに挑戦している。



# 社会のダイナミズムと未来を見通すチカラ

感性と論理思考で未来を推論する方法を学び、

【part1】エネルギーの未来とビジネス

【part2】ICTと生活

のふたつのテーマを扱いながら実際にグループワークを通じて、  
〈未来を手探りする方法〉 〈未来を見るための推論の方法〉を獲得していきます。

未来は、実際に訪れるまで、確実に「知る」ことは不可能ですが、推論で未来の輪郭をとらえることは可能です。未来の輪郭がわかれば、仕事や生活に訪れるであろう変化がわかり、先取ることも可能です。感性のツバサと、論理のエンジンで未来を探しに行きましょう。



脇 経郎  
Tateo Waki

イノベーションアソシエイツ株式会社  
代表取締役 最高経営責任者

竹中工務店、音楽系ITベンチャーのスタートアップへの参画を経て、2003年、イノベーションアソシエイツ株式会社を設立、同社COO、共同代表取締役を経て代表取締役最高経営責任者に就任。

現在、自らもコンサルタント/ファシリテーター/ エグゼクティブコーチとして活動し、経営者支援をはじめ、自己革新力を高めるチーム開発、リーダーシップ開発、経営品質向上プログラムを通じた現場変革に取り組む。

特に、脳科学や心理学、行動科学をベースに、戦略や制度などの仕組みに、ヒトの有機的なつながりや学習 / 自己革新のエッセンスを組んだシステム的アプローチは、個人とチームに着実にダイナミックな変革を引き出すアプローチとして定評がある。一般企業のほか、公立の小中学校や自治体、地域団体の支援などの経験を持つ。



# キャリア・リーダーシップ

変化の時代に、しなやかに自分らしいキャリアを形成することを目指します。ダイバーシティが求められるビジネス社会において、自分らしい豊かな多様性を解き放ち、社会・組織に貢献しながら自らも成長充実していくために、自律したキャリアを考えます。

これまでの人生を振り返り、改めて自分の求めていることを探求し（事前課題＋ワーク）環境の変化とキャリア観の変化を理解し、自律的にキャリアを形成するためのフレームワークを学びます。また環境変化において、過去のしがらみや常識に囚われず、将来に向けて、自分が望む方向を仮説で描き、他者との交流を通して、キャリアに関する視野と可能性を広げます。

変化の時代だからこそ、変化に振り回されずにしなやかに（したたかに：笑）自分らしい生き方を考える時間になればと思います



根本 Deacon 雅子

Masako Deacon  
Nemoto

L.C.L.

代表

新卒で三菱商事株式会社に入社し、ODA海外プロジェクトチームに配属。入社以来、ODA案件の主に、病院建設、大学建設に関わる。その後渡英し、ビジネスコンサルティング会社JMJ Associates 危機管理、プロジェクトマネジメントに関わる。主に、中近東のパイプライン建設のジョイントプロジェクトに関するチームビルディングで貢献。コーチングをベースにしたマネジメントコンサルティングの深さに魅せられ、カナダ、アメリカ、イギリスのコーチングのカレッジに行き、スキルをアップ。アメリカのアランキャロルアソシエイツで、欧州日本でIT企業向けタイムマネジメントのプロジェクトに関わる。Miyabi Consultants Ltd (屋号L.C.L.)を設立して現事業、コーチングをベースにした企業研修、公開セミナー等始める。



# トライセクターリーダーの時代

今、世界で、日本で、多くのトライセクター・リーダー & イノベーターが輩出されている。企業と経営の社会的役割を考える時に、もっともわかりやすい人材像であり、ロールモデルになりうるのが、トライセクター・リーダーである。トライセクター・リーダーとは、政治行政・企業ビジネス・NPOの3つのセクターのすべてに通用するリーダー、あるいは、3つのセクターの枠を越えてより良き社会を実現していくリーダーである。

社会とのつながりの中で、企業や経営者が求められることがどのように移り変わり、今後どのような存在であることが望まれるのか、大局観から俯瞰し、トライセクター・リーダーを通じて、その存在意義について哲学的なレベルでの理解を深めていく科目です。



金野 策一

Sakuichi Konno

日本女子経営大学院  
理事

日本政策学校・代表理事、多摩大学経営大学院（MBA）・客員教授、嘉悦大学・客員教授、公益財団法人東京コミュニティ財団・評議員。

コロンビア大学国際公共政策大学院修士課程修了。過去に、(株) ネットキャピタル・パートナーズ取締役、(株) 小西美術工芸社社長補佐等を歴任。主な著書『未来の選択～僕らの将来は、政策でどう変わる?』（ディスカヴァー21社）、『ネットビジネス勝者の条件』（ダイヤモンド社）、『Eコミュニティが変える日本の未来～地域活性化とNPO』（共著:NTT出版）他。主な連載『日本の 選択・13の論点』（日経ビジネスオンライン）他。『トライセクター・リーダーの時代』（日経ビジネスオンライン）



# 組織・人材マネジメント

組織・人材マネジメントは、企業経営において、競争優位に関するもっとも重要な源泉であるといえましょう。ただし、人をテーマにしているということは、経営にとっての効率性ということだけがポイントではありません。

組織において個々の人がどのように動機づけられ、どのように生きていくのか、組織・人材マネジメントとは、この複雑な課題そのものに向き合っていくことも意味するのです。

本講義では、組織論、組織における人の行動、リーダーシップ、人材マネジメントのあり方について理解を深めていきます。



野田 稔

Minoru Noda

明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科

教授

明治大学大学院グローバル・ビジネス研究科教授。一橋大学大学院商学研究科修士課程修了。

野村総合研究所で組織開発分野を中心に多数のプロジェクトマネージャーを務める。

多摩大学経営情報学部教授、リクルート新規事業担当フェローを経て現職。

大学院で学生の指導にあたる一方、大手企業の経営コンサルティング実務にも注力。

専門は組織論、経営戦略論、ミーティングマネジメント。

著書に『組織論入門』『中堅崩壊』（ともにダイヤモンド社）、『二流を超一流に変える「心」の燃やし方』（フォレスト出版）など。





# 次世代リーダーのための考える技術・書く技術

思考には型がある。その型を使うことでパフォーマンスを上げ、成果を出すことにつながる。

本科目では「ピラミッドストラクチャー」を始めとする、思考の型（フレームワーク）を理解し、その型（フレームワーク）を使って自分の考えをまとめて、次世代リーダーとして必要なスキルである考える技術・書く技術を体得する科目。

思考の型を使って考えると、効率的に問題解決したり、アイデアをだしたりすることがさくさくできるようになるが、そのためには、実践があるのみ。この科目では、フレームワークを使ってワークをしっかりと行い、脳に汗をかいてもらいます！



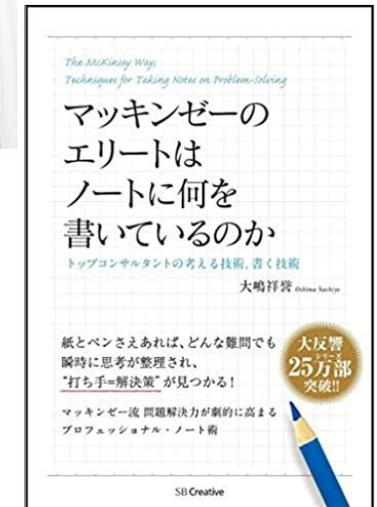
大嶋 祥誉

Sachiyo Oshima

センジュ・ヒューマン・デザインワークス株式会社

代表取締役

上智大学外国語学部卒業。米国デューク大学 Fuqua School of Business 経営学修士 (MBA) 修了。米国シカゴ大学大学院 人文科学学修士 (MA) 修了。マッキンゼー、ウィリアム・エム・マーサー、ワトソン・ウィアット、グローバル・ベンチャー・キャピタル、三和総合研究所（現三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）にて、経営戦略、組織改革、リーダー育成プログラム開発などのコンサルティングやベンチャー企業支援に従事。2001年ヴェディックビジョンコンサルティング（現 センジュヒューマンデザインワークス株式会社）を設立。経営幹部へのエグゼクティブ・コーチング、チームビルディング、リーダーシップ開発を実施。





# ストレングス・リーダーシップ

プログラムは、ステレオタイプなリーダーシップに自分を合わせるのではなく、<自分の強みを活かした自分にしかできないリーダーシップスタイル>を発見していく科目です。

書籍『さあ、才能に目覚めよう新版ストレングスファインダー2.0』内にあるIDを使いストレングスファインダーを受験し、（20分程度です）自分自身の資質、強みのトップ5を確認し、受検後、書籍や各資質のリーダーシップについて簡単に特記した資料を事前にお読みいただいた上で授業に望みます。

このクラスは、お1人お1人が自分を客観的にみて、自分では気がついていない才能を認識し、ステレオタイプのリーダーシップ像に自分をはめ込むのではなく、自分らしいリーダーシップを考えていくクラスです。

皆と一緒にオリジナルリーダーシップを構築していきましょう。



松本 亜樹子

**Akiko Matsumoto**

日本支援対話学会理事

N P O 法人Fine理事長

国際コーチ連盟 認定プロフェッショナルサー ティファイドコーチ（ICF PCC）

米国Gallup社認定 スtrenグス・コーチ

財団法人 生涯学習開発財団認定コーチ

一般社団法人 全国心理業連合会認定上級プロフェッショナル心理カウンセラー

一般社団法人 日本支援対話学会認定コーチング・スペシャリスト

一般社団法人 日本アンガーマネジメント協会認定 アンガーマネジメントシニアファシリテーター/アンガーマネジメントコンサルタント/アンガーマネジメント叱り方トレーナー





# コーチング・マネジメント

コーチング的な質問力・コミュニケーション力の向上を通じて、マネジメントスキルの向上をめざす科目です。

まずは講義を通して、コーチングの構造（GROWモデル）や、オープンクエスチョン&クローズドクエスチョン、効果的な質問について理解を深めます。授業の後半は、講師によるデモンストレーションや、受講者同士のロールプレイングを通じて、実践するうえでの手ごたえや課題を持ち帰っていただきます。

事後課題では、実際に受講者同士のコーチングを継続することにより、具体的な行動の変化を体感することができるでしょう。



寺田 由美

Yumi Terada

HRリスペクト株式会社  
代表取締役

1958年大阪生まれ。国立奈良女子大学文学部教育学科卒。住友信託銀行（現三井住友信託銀行）、河合塾、日本サードパーティ（株）執行役員を経て、2007年HRリスペクト（株）設立。大手企業から中小企業まで組織コミュニケーションのコンサルティング、研修事業を展開。2014年（一社）コーチングプラットフォーム設立。ICF（国際コーチ連盟）認定のプロコーチ養成講座を開催し、プロコーチの育成を行っている。年間140日以上3,000人以上への研修を実施。パーソナルコーチ、エグゼクティブコーチは、100人以上、3,000時間以上実施。

資格

- ・ ICF（国際コーチ連盟）MCC(Master Certified Coach)
- ・ NLPマスタープラクティショナー
- ・ 米国ギャラップ認定ストレンクス コーチリーダー
- ・ ORSC認定システムコーチ 他



# マネジメント基礎力強化

マネジメントには「戦略レベル」を扱うマクロ的な視点と、現実の中で周囲のメンバーを動かしながら、集団としての成果をまとめる「組織レベル」があります。

本科目ではマネジメントの全体像を押さえつつ、より「組織レベル」、すなわち、人を動かすことで成果を出す日々のマネジメントにおいて求められる様々な観点についてよりフォーカスし学んでいく内容としています。



吉沢 昇司

Shouji Yoshizawa

日本女子経営大学院  
プログラム開発室長

1971年 長野県生まれ

1996年 早稲田大学商学部卒業。

株式会社ベネッセコーポレーション、ソフトバンク フォーラム株式会社にてマーケティングに携わる。2002年より、企業の人材開発・組織開発および学校教育コンテンツ提供をドメインとする株式会社 ウィル・シードの創業に参画。企業の人材開発事業の立ち上げに参画し、営業、商品研究・開発、講師 開発・育成等を担当。取締役教育研究所所長として さまざまな業種・職種の手企業向けの教育施策企画・開発・実施に携わる。

2012年4月より独立し2014年株式会社ジニアスホープを設立。現在は様々な教育コンテンツを開発すると共に、「学習する組織」の実現をライフテーマとし、システム思考やホールシステムアプローチを活用したビジョン浸透、組織の変革、組織学習能力の向上、リーダーシップ開発等をテーマとしたコンサルティング活動を展開している。



# ロジカルシンキング / 課題解決

ロジカルシンキングにもとづく課題解決のスキルの「質問カード」（新開発）というツールを使い、課題を発見し、分析、解決策を見いだすための体験と、それをチームで有効に使うためのポイントを学びます。

自ら課題を発見し、分析して解決策を導くこと。またその方法をチームメンバーに広め、チームの課題解決力を高めることに活用できます。

部下・後輩の指導が早く、確実になる。また同じ手法を使うことでコミュニケーションがスムーズになり、業務スピードが向上するなど、日常的に使うためのポイントをわかり易く指導します。



渡辺 パコ

Paco Watabnabe

株式会社水族館文庫  
代表取締役社長

デジタルハリウッド大学  
DHU教授

グロービスマネジメントス  
クール 講師

日本工業大学専門職  
大学院 客員教授

1960年東京生まれ。学習院大学文学部哲学科卒業の後、コピーライター/クリエイティブディレクターとしてキャリアをスタート、企業広告・採用 広告。会社案内などの制作に従事。担当企業1000社以上。その後、ベンチャービジネスのインキュベーションに関わり、1995年から講演、講師として活動。企業研修実績多数。1997年よりネットコミュニティ「知恵市場」を主宰。2001年に八ヶ岳南麓にセカンドハウスを作り、週末を過ごす生活に。2009年より「おとなの社会科」セミナーを開始。2011年より「エネこみ」開始。現在、グロービスマネジメントスクール講師。デジタルハリウッド大学教授・同大学院客員教授。NPO法人環境リレーションズ研究所監事。





# メンターワークショップ

フロンティアメンターへのインタビューやメンタリングセッションを通じて、自らのリーダー観を育てます。受講生がフロンティアメンターから個別指導支援を受けるセッション中心、ワークショップ形式の科目となります。

エグゼクティブメンター、フロンティアメンターから得た多様な気づきや発見を通じ、刺激や資源を得ただけにとどまらず、自らが主体的に学習すること、行動を起こすことが大切です。自分はどう考えるか？自分は何者か？リーダーとしてどうありたいか？どんな未来を創りたいか？等自ら深く思考する機会となります。

※フロンティアメンター：一歩先をゆく先輩リーダーのロールモデル

※エグゼクティブメンター：企業エグゼクティブなどのトップリーダーのロールモデル



河北 隆子

Takako Kawakita

日本女子経営大学院  
代表理事・学長

1960年東京生まれ。総合オフィスサプライヤー企業、外資系人材派遣企業を経て、組織人材コンサルタントとして独立し、7年にわたり大手自動車会社の組織変革プロジェクトの教育プログラム開発、展開のコアパートナーとして活躍。その後、コーチングプロジェクトCSC代表を経て、2003年組織風土変革支援のイノベーションアソシエイツ株式会社を創業、代表取締役。その後2015年、日本女子経営大学院を創立し、代表理事及び学長に就任。

生涯学習開発財団認定コーチ、GIAL認定シニアアクションラーニングコーチ、ジョージワシントン大学大学院コース修了。日本メンタルヘルス協会心理カウンセラー基礎認定、文部科学省学校力向上教材開発検討委員。企業、教育現場、医療機関、自治体他多様な産業において、人材開発、組織開発、リーダーシップ開発、女性活躍支援などに従事。

人と社会（組織）が循環して起こす、幸福で共創的な日常のイノベーションの創出のために、自由で多様性のあるビジネスに挑戦している。



# 事業計画

ある日、突然上司から事業計画を作ってくれと言われたら、あなたならどうするでしょうか？

事業計画とは、ビジネスの成否を握る重要なフレームワークです。この科目では、事業計画の基本を理解し、その考え方、その際に抑えるべきポイントや、事業計画の要素、実際の作成のステップ、作成する際に押さえるべきポイントを事例を使って学びます。

本テーマは単に事業計画「書」を作成することではなく、この後に展開する各講座の入口となるものであり、アカウントティング、ファイナンス、事業戦略、経営戦略、マーケティング、販売戦略、ビジネスモデル等それぞれが薄く広くまぶされています。ビジネスを俯瞰的かつ連続的に捉える能力も養います。



大嶋 祥誉

Sachiyo Oshima

センジュ・ヒューマン・デザインワークス株式会社

代表取締役

上智大学外国語学部卒業。米国デューク大学 Fuqua School of Business経営学修士（MBA）修了。米国シカゴ大学大学院人文科学学科修士（MA）修了。

マッキンゼー、ウィリアム・エム・マーサー、ワトソン・ワイアット、グローバル・ベンチャー・キャピタル、三和総合研究所（現三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）にて、経営戦略、組織改革、リーダー育成プログラム開発などのコンサルティングやベンチャー企業支援に従事。

2001年ヴェーディックビジョンコンサルティング（現 センジュヒューマンデザインワークス株式会社）を設立。経営幹部へのエグゼクティブ・コーチング、チームビルディング、リーダーシップ開発を実施。



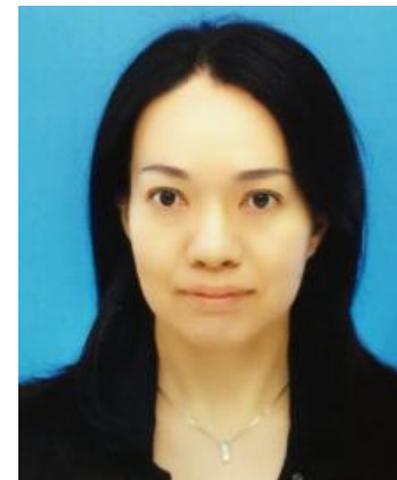
# アカウンティング

アカウンティングについて、会計の基礎知識、決算書を通じた経営課題発見方法への理解を深めていく科目です。

事業全般または資金繰りの課題発見方法を理解し、会計数字や決算書を感じ取るとらえ、経営数字を見ることに対する抵抗感を緩和することを目的とします。

会計は、会社経営をけん引するビジネスリーダーにとっては、自社の課題が何なのか仮説立てのツールとして非常に効果的なものです。ただし、数字の羅列された資料は見る気が起きない、苦手意識が出やすい資料であり、実際の現場で使われることがないことが非常に多くあります。

今回の講義を機に、数字に対する苦手意識を乗り越えられる知識ととらえ方を身に付けていただければ幸いです。



村田 真理

Mari Murata

税理士

中央大学商学部会計学科卒業。

株式会社TKC System Consulting Groupにて、会計・税務ソフトウェアの営業、税理士の仕事を知る。税理士試験を経て、Arthur AndersenからKPMG Transaction Advisory Groupにて不動産証券化、M&Aを担当。その後、個人税理士法人にてセミナー講師、不動産ファンド等を担当したのち、AIGにてリーマンショックを経験しInvescoへ（通算11年）。税務ストラクチャリング、ファンド経理部長として、J-REIT IPO、海外ファンドの立上げ、女性ネットワークなどに関わる。その後、Netflixにて日本事業立ち上げにおける税務、コーポレート経理を担当。

現在はEY税理士法人ITTS,国際法人税務アドバイザーグループ ディレクター。国際税務トランザクションサービスに従事し、不動産ファンド、インバウンド税務、M&Aを担当。自由、専門性、チーム、組織作り等をキーワードに、D&Iコミティメンバーとしても活動している。



# 営業・販売戦略

マーケティングは顧客アプローチのマクロ的な視点での戦略であり、実際に世の中に広めていく動きとしてはミクロ的な動きとしての「営業・販売」があります。確実にかつ長期的に「売りを立てる」ために重要である営業・販売についての全体像を学ぶ科目です

自分の会社（事業部）の営業・販売を科学し、「7つの教訓」を具体例を交えて理解します。確実に長期的に「売りを立てる」ための会社（事業部）のレバレッジポイントを探り、理解したことを自分の会社（事業部）へ応用するための具体的な取り組みを考えられるようになります。



野元 義久

Yoshihisa Nomoto

株式会社  
BRICOLEUR

代表取締役

リクルートに新卒入社。親会社である一部上場企業のコンサルティング本部副部長としてマーケティングコンサルティングの事業立ち上げを務める。

組織人事コンサルティングへと転身、現一部上場企業にてIPO前後のベンチャー専門部隊のコンサルティング事業責任者として、昨対120%売上を実現。

独立し、ベンチャー企業の人事担当取締役として80人30億から500人140億までの成長を支援しながら、営業チーム対象のコンサルティング会社を設立、1600の営業チームに対して成功法則を探求するワークショップを行う。

企業内ファシリテーター養成の実績は1万人を越える。2015年7月、「職場を、チームにする」株式会社BRICOLEURを設立。

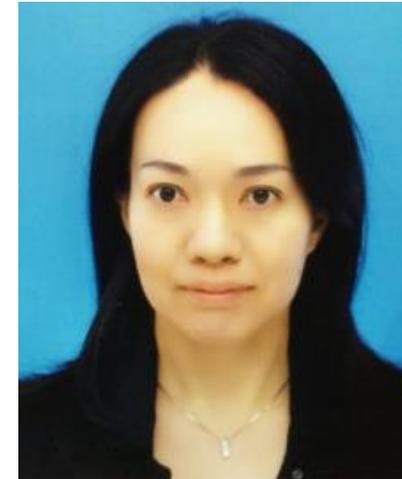


# ファイナンス

ビジネスにおいて最低限必要とされるファイナンスの基礎知識について学び、それらをベースに意思決定に際しては何をどう考えたらいいのか、について示唆を得ることをテーマとした科目です。

ファイナンスは高等数学を多用してとっつきにくいという印象を持たれるかもしれませんが、講義で高等数学的なことは一切話しません（算数レベルの数式の説明は有り）。

講義では、生身の企業を経営する観点からファイナンスをどう活用するのか、ファイナンスの考え方の背景には、資本の提供者から事業に対するどのようなメッセージが含まれているのか、そのメッセージに対して経営する側としては何をしなければならないのか、を明らかにすることにより、「経営をする立場からのファイナンス」に講義の焦点を当てます。



村田 真理

Mari Murata

税理士

中央大学商学部会計学科卒業。

株式会社TKC System Consulting Groupにて、会計・税務ソフトウェアの営業、税理士の仕事を知る。税理士試験を経て、Arthur AndersenからKPMG Transaction Advisory Groupにて不動産証券化、M&Aを担当。その後、個人税理士法人にてセミナー講師、不動産ファンド等を担当したのち、AIGにてリーマンショックを経験しInvescoへ（通算11年）。税務ストラクチャリング、ファンド経理部長として、J-REIT IPO、海外ファンドの立上げ、女性ネットワークなどに関わる。その後、Netflixにて日本事業立ち上げにおける税務、コーポレート経理を担当。

現在はEY税理士法人ITTS,国際法人税務アドバイザーグループ ディレクター。国際税務トランザクションサービスに従事し、不動産ファンド、インバウンド税務、M&Aを担当。自由、専門性、チーム、組織作り等をキーワードに、D&Iコミティメンバーとしても活動している。

# 志（リーダーシップ・グローバルリーダー）

多文化共生時代を積極的に活用するリーダーシップがテーマです。来たるべき多文化共生社会についてリーダーとして問題意識を持ち深め、自身のリーダー像に国際的要素を加える、または強化することを狙いとしています。

グローバル時代を視野に、自身のリーダーシップを来たるべき多文化共生社会の中でどう生かすか、また、リーダーとして多文化共生時代をどのように活用するかを具体的に考えます。対話から学ぶ演習型の楽しい授業です。話し合いに積極的に参加すると大きな学びを得られます。



ヤンイエティッチ  
クリスティーナ  
Kristina Janjetic  
アバナード株式会社  
ディレクター

オーストラリア生まれ育ち、学生で来日し25年在日。国際基徳教大学、国際関係を1998年に卒業後、富士通のグループ企業に新卒採用で日本でITキャリアをスタート。

米国のソフトウェア企業の日本法人の立ち上げの経験があり、デル株式会社、日本マイクロソフト株式会社などにて、ビジネス開発とアライアンス・マネージャーとしてのプロフェッショナルでキャリアを築いてきた。

# ゲスト授業

時代を反映し、「今」と「未来」に最も必要な授業を期ごとに選定する、ゲスト講師の授業です。民間のビジネススクールだからこそ実現できる、刺激的な授業をどうぞお楽しみに！





# ビジネスモデル思考

様々なビジネスモデルを、シンプルなステップに則って9つに分類し、その関係性を理解・構想するための可視化ツール「ビジネスモデルキャンパス」の具体的な使い方・活用方法について理解を深める科目です。

この時間を通じて、一見複雑に見えるさまざまなビジネスについて、よりシンプルにその事業として成立し成功している流れを整理できるようになり、自身が新たなビジネスを構想する際にも非常に参考にできる方法論が習得できます。

身の回りにある同じような商品やサービスですが、実は見た目以上に、まったく違うコンセプトや実現の仕組みを持っており、グループワークからも体験することが出来ます。

ビジネスモデルの違いを理解し、会社や自分自身の変革に活用することを目指します。



中野 廣介

Hirosuke Nakano

SBIビジネスサポート株式会社 教育ソリューション事業本部 本部長

建設コンサル、美容サイト、新卒サイトの各運営企業での提案営業、大手マーケティング企業での企画・管理者を経て、SBIビジネスサポート株式会社 教育ソリューション事業本部長に就任。

- ・人材育成シンクタンク運営管掌・BPOサービス 事業管掌
- ・学校法人SBI大学院大学TA (HRM・組織行動学)
- ・一般社団法人日本女子経営大学院講師 (ビジネスモデル思考)
- ・ビジネスモデル研究会 (東北大学 松原教授主催)
- ・人と組織活性化研究会 (神戸大学 金井教授主催)



# ストーリーテリング

感情に働きかける有効なアプローチとして、マーケティングやプレゼンテーションの分野で着目される「ストーリーテリング」について理解し、リーダーとして他者を動機づける方法論としてのポイントを学んでいきます。

論理だけでなく情緒をどのようにビジネスに活かすのか、その具体論の一つがストーリーテリングです。リーダーにとっての最高の武器としてのストーリーテリングの押さえどころと、応用・実践のシーンとしてプレゼンテーションに焦点を当てて学んでいただきます。



吉沢 昇司

Shouji Yoshizawa

日本女子経営大学院  
プログラム開発室長

1971年 長野県生まれ

1996年 早稲田大学商学部卒業。

株式会社ベネッセコーポレーション、ソフトバンク フォーラム株式会社にてマーケティングに携わる。2002年より、企業の人材開発・組織開発および学校教育コンテンツ提供をドメインとする株式会社 ウィル・シードの創業に参画。企業の人材開発事業の立ち上げに参画し、営業、商品研究・開発、講師 開発・育成等を担当。取締役教育研究所所長として さまざまな業種・職種の手企業向けの教育施策企画・開発・実施に携わる。

2012年4月より独立し2014年株式会社ジニアスホープを設立。現在は様々な教育コンテンツを開発すると共に、「学習する組織」の実現をライフテーマとし、システム思考やホールシステムアプローチを活用したビジョン浸透、組織の変革、組織学習能力の向上、リーダーシップ開発等をテーマとしたコンサルティング活動を展開している。

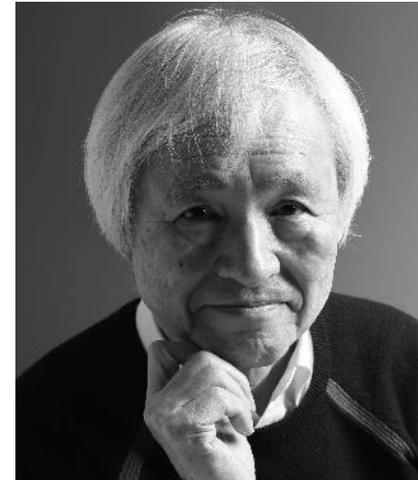


# リーダー・管理職のためのストレスマネジメント

ストレスを活用して、リーダーとして成長する方法を考える。

ストレス対処の構造や、ストレスとは何か、をハンス・セリエの定義をもとに理解し、ストレス対処の3つの鉄則を学ぶ。

講義後半では、さらに「管理職・リーダーのための特別なストレス対処法」として、実用的な5つの対処法を紹介する。



松下 信武

Nobutake  
Matsushita

ゾム 代表

わたし・みらい・創造センター（企業教育総合研究所） 上席研究員

京都大学経済学部卒業／日本生産性本部キャリア・コンサルタント養成講座講師兼試験委員に就任／(株)ベルシステム24 執行役員・総合研究所所長兼ベルカレッジ校長／獨協大学経済学部特任教授／法政大学大学院政策創造研究科修士卒業。日本のエグゼクティブ・コーチングの創生期から、エグゼクティブ・コーチとして活躍。現在も、月平均10名以上のエグゼクティブ・コーチングを行っている。心理学の視点に立ち、様々な企業の人材育成のアドバイスや心理アセスメント作成をしている。日本電産サンキョー(株)のスケート部のメンタルコーチとして、3回冬季オリンピックに参加。バンクーバーオリンピックに日本電産サンキョー・スケート部のメンタルコーチとして参加（スピードスケート男子500メートルで長島選手銀メダル、加藤選手銅メダル 女子500メートル吉井選手入賞）菊池彩花選手が平昌オリンピックで金メダル。丸亀城西高校硬式野球部甲子園大会出場





# システム思考

今後のリーダーに必携な思考法である「システム思考」…複雑で動的な問題について、全体俯瞰で捉えて、より根本的で長期的な解決策を考えていく思考法…の基本的な思考態度と具体的な方法について学んでいきます。

世の中の複雑性を、よりそのままに理解し、そこに打ち手を打っていく思考法としてのシステム思考は、昨今のSDGsや変化の理論（TOC）などの世界的な取り組みを考える思考基盤となっています。

MITやハーバードで方法論として確立されたシステム思考ですが、日本人が昔から持っている「因果応報」といった、循環や全体性で物事を捉えようとするアプローチにフィットした思考法であり、今後のリーダーには必携の思考法です。



吉沢 昇司

Shouji Yoshizawa

日本女子経営大学院  
プログラム開発室長

1971年 長野県生まれ

1996年 早稲田大学商学部卒業。

株式会社ベネッセコーポレーション、ソフトバンク フォーラム株式会社にてマーケティングに携わる。2002年より、企業の人材開発・組織開発および学校教育コンテンツ提供をドメインとする株式会社 ウィル・シードの創業に参画。企業の人材開発事業の立ち上げに参画し、営業、商品研究・開発、講師 開発・育成等を担当。取締役教育研究所所長として さまざまな業種・職種の手企業向けの教育施策企画・開発・実施に携わる。

2012年4月より独立し2014年株式会社ジニアスホープを設立。現在は様々な教育コンテンツを開発すると共に、「学習する組織」の実現をライフテーマとし、システム思考やホールシステムアプローチを活用したビジョン浸透、組織の変革、組織学習能力の向上、リーダーシップ開発等をテーマとしたコンサルティング活動を展開している。



# 経営戦略

経営戦略では、企業や事業における戦略を如何に立て実行するか、といった戦略策定・意思決定の観点や、戦略の分析方法について学習していきます。業界や事業規模などを超えて汎用的に知っておくべき基本的な観点や、部分やある要素ではなく、全体として一貫性のある「思わず話したくなるような」面白い戦略を立てることの大切さを知っていただく科目です。

講義では、まず実務家の観点から見た時の経営戦略の立案と実行のプロセスを概観します。このプロセスは大きく分けて「理解」「判断」「実行」の三つに分類できます。この三つの段階でどのような活動が求められるのか、またどういった点に留意するべきかを議論していきます。

セッションの後半からは、事例を紹介しながら、具体的に一人の経営幹部やマネジャーとして、どのように経営戦略に関わっていけばよいのかを考えます。この際、講師が実際に関わってきた経営戦略立案の現場の、「理解」「判断」「行動」の事例をとりあげ、具体的にどのような行動をとるべきかを、事例をもとにイメージします。特に、「判断」と「実行」の側面においては、経営幹部が直面すると言われる課題に関しても出来る限りふれ、それに対する対応策に関しても紹介したい。

この科目では、事業性や事業特性をどのように理解・分析するのかを理解し、競争や優位性を、一貫性のあるものとして、どのように捉え理解するのか、について学んでいきます。また、様々なタイプの戦略（成長戦略、多角化戦略、様々な戦略論など）についてその違いと特性を理解します。経営における、戦略の重要性とその基本的な類型について広く知ることができ、その上で、成功した戦略事例をどのように理解し活かすことができるのか分析し理解することの基礎を習得します。



琴坂 将広

Masahiro  
Kotosaka

慶応義塾大学

総合政策学部准教授

慶応義塾大学准教授（SFC・総合政策）。数社の起業を経験の後、マッキンゼー・アンド・カンパニーの日本およびドイツを拠点に主に海外企業の経営支援に従事。その後、オックスフォード大学に移籍し、経営学の優等修士号と博士号を取得。立命館大学経営学部を経て、2016年より現職。専門は、経営戦略、国際経営、および、制度と組織の関係。フランス国立社会科学高等研究院のアソシエイト・フェロー、ユークレナ、ユーザベース、ラクスル、アピリッツ、五常・アンド・カンパニー、ユーザベースの社外役員を兼務。著書に『経営戦略原論』『領域を超える経営学』、共著に『Japanese Management in Evolution』などがある。





# マインドフルネスとビジネス

リーダーが持つべき一つの新しい考え方の方向性である“マインドフルネス”…自分の自然な状態に対する感度を高め、しなやかで穏やかな心身の健全性を保つ方法…について学び、自身が自分らしくある、ということを持続・強化するための身体感覚を高めるアプローチを学ぶ科目です。

マインドフルネスという考え方が生まれた経緯・背景や、それが今、そして今後どうビジネスで生かされるのかについて理解し、どのような方法で自身のマインドフルネスを維持・コントロールするのかについて学んでいきます。

新しいアプローチで、自身の心の状態に向き合い、落ち着いた自分らしい気持で本来の自分自身の在り方や思いを理解し、一時の感情やストレスに悪影響を受けにくい状態を維持するためのアプローチを理解することができます。

リーダーシップとは、常に自分に「問い」をたて、それに対して湧いてくる「自分の内なる声」に耳を澄まし、そこから選択・行動し続ける「旅」のようなものです。そんなリーダーシップジャーニーにおける、最も重要な問いは「自分は何者としてありたいのか？」という問いです。

真の自分を表現し生きていく時、「何をするか（行動・Doing）」が必要であると同時に、「どうあるか（あり方・Being）」が問われ、この自分の器を拡大していくことが求められます。

この講座では、「使命」を実現していく源としての〈本当の自分〉を見つめ直し、自分のすべてのリソースをパワーに転換していくことについて探求を深めます。



渋谷 聡子

**Satoko Shibutani**

ファミリーコンパス共同代表

エグゼクティブコーチ

組織変革ファシリテーター

米国CTI認定アクティブ  
コーチ

NLP国際認定プラクティ  
ショナー

株式会社ベネッセコーポレーションにて、進研ゼミ中学講座の全国添削指導員（赤ペン先生）育成マネージャーを経て、e-ラーニング新規事業の立ち上げに従事。独立後、エグゼクティブコーチとして「個人と組織の可能性を最大限引き出す」をテーマに、経営者、政治家、アスリートなどに対する1対1セッションや、ダイアログをベースとした組織変革コンサルティングを行う。2009年、國學院大學大学院神道学にて、修士号を修了。同時に、神職養成課程において、神職階位「明階」を取得。伊勢神宮、岩清水八幡宮、下鴨神社等へのご奉仕を通して、現代日本に脈々と息づいている神事祭祀の本質に触れる。その後も、上記の研究を適用し、多方面のクライアント（省庁、自治体、学校法人、医療法人など）に対して個人と組織の進化をサポート。現在は、息子（4歳）と娘（10ヶ月）の二児の母。



# マネジメント理解と実践力セッション

当授業の、コースや授業プログラム全体の中の立ち位置は、受講生懇親会やカフェタイムのような、日常の価値ある機会と似ています。ポイントは3つあります。

1つ目は、ふーっと息を吐いて立ち止り、これまでの自らの学びのピースを眺め、繋ぎ、全体を見渡し、自らをもう一皮むくために必要な焦点を再考することです。

2つ目は、多様な業種業界から集い学び合う受講生たちや多彩なゲストのリソースを活用しつつ、各々のミッションやプロジェクト、日常のあらゆるシーンでうまくいかない具体的な事象や、動きだしたストーリーや更なる迷い等にホンネで向き合い、気にかかる問題解決を、フラットに相談し合える場の中で、具体的な解決アイデアや実践を交換しあいます。

3つ目には、経験学習とダイバシティ学習を多用しながら、常に学びを行動に紐付ける力、俯瞰する力、活用応用転用するその習慣を養います。

また、切磋琢磨しあえる関係性、多様性活用及びチーム力強化に加え、そもそもの前提をもちあわせてイノベーションをおこす創造性開発やその在り方を養います。



脇 経郎  
Tateo Waki

イノベーションアソシエイツ株式会社  
代表取締役 最高経営責任者

竹中工務店、音楽系ITベンチャーのスタートアップへの参画を経て、2003年、イノベーションアソシエイツ株式会社を設立、同社COO、共同代表取締役を経て代表取締役最高経営責任者に就任。

現在、自らもコンサルタント/ファシリテーター/エグゼクティブコーチとして活動し、経営者支援をはじめ、自己革新力を高めるチーム開発、リーダーシップ開発、経営品質向上プログラムを通じた現場変革に取り組む。

特に、脳科学や心理学、行動科学をベースに、戦略や制度などの仕組みに、ヒトの有機的なつながりや学習/自己革新のエッセンスを組んだシステム的アプローチは、個人とチームに着実にダイナミックな変革を引き出すアプローチとして定評がある。一般企業のほか、公立の小中学校や自治体、地域団体の支援などの経験を持つ。



# all成長セッション

自らの成果成長を振り返り、凝縮して見える化することによる再確認と、同期受講生同志が互いに成果成長を確認、共有し、チーム学習を醸成することを目的としています。

「オーセンティックリーダー総まとめシート」への記入（事前課題）によって、内省を深め、学びを統合することができるため、自分自身の大きな成長に驚くことでしょう。

また、同じカリキュラムを同じように学んできた仲間との「違い」を目の当たりにすることで、ダイバシティの本質を掴むことができます。



河北 隆子

Takako Kawakita

日本女子経営大学院  
代表理事・学長

1960年東京生まれ。総合オフィスサプライヤー企業、外資系人材派遣企業を経て、組織人材コンサルタントとして独立し、7年にわたり大手自動車会社の組織変革プロジェクトの教育プログラム開発、展開のコアパートナーとして活躍。その後、コーチングプロジェクトCSC代表を経て、2003年組織風土変革支援のイノベーションアソシエイツ株式会社を創業、代表取締役。その後2015年、日本女子経営大学院を創立し、代表理事及び学長に就任。

生涯学習開発財団認定コーチ、GIAL認定シニアアクションラーニングコーチ、ジョージワシントン大学大学院コース修了。日本メンタルヘルス協会心理カウンセラー基礎認定、文部科学省学校力向上教材開発検討委員。企業、教育現場、医療機関、自治体他多様な産業において、人材開発、組織開発、リーダーシップ開発、女性活躍支援などに従事。

人と社会（組織）が循環して起こす、幸福で共創的な日常のイノベーションの創出のために、自由で多様性のあるビジネスに挑戦している。

# マーケティング & 事業戦略

経営は、戦略に立脚しますが、その戦略の根底をなすのは「市場戦略」です。なぜか？二つの意味があります。

一つはそもそも事業と企業は、顧客・市場に価値を提供することで存立しているということ。当たり前にも聞こえますが、とても重要です。

二つには、「顧客・市場」のことを本当に理解すると、マーケティング全般だけでなく、事業戦略全般まで一気に本質的な気づきを得たり、構想してしまうことが可能となります（しかしこのことはほとんど認識も理解もされていません）。

顧客・市場の反応の立体感、というものの見方を掴み、それを起点として、マーケティングの全貌を理解していきます。さらに、その同じ起点から、投資の判断、R & D、ビジネスモデルの構想・変更などを含み、戦略の全貌とM&Aとの関係についても意識を馳せていきます。

この講座では限られた時間内に拘わらず、このマーケティングの凄まじい実戦の世界について、ごく基礎から、戦略世界の全貌・最先端まで一気に垣間見てしまいます。しかも、ある種の「体感」すなわち「体験的理解」も踏まえて！

知識としてでなく、外から与えられる思考の枠組みとしてでなく、顧客・市場の立体感と、マーケティング戦略の全貌について、自ら感覚と重要な鍵を掴んでいきます。人から学んだ理論は実地実戦では使えません。また知識、理論、枠組みなど学んでも、学んだだけで終わっていて実際のマーケティングに活かせていないという状況におちいっている人がほとんどです。ではどうしたらいいのか？ 鍵は3つあります。混沌とした現実から、死にもぐるいで自分で鍵を抽出していくこと、それこそ実地で使えるようになります。



小川 政信

Masanobu Ogawa

インスパーク株式会社  
代表取締役

1959年生まれ、82年東京大学卒、89年ハーバードMBA。マッキンゼーなどを経て、96年に独立。最大スピード・最大の費用対効果で、豊かで戦略的な生き方と経営を支援するため、インスパーク株式会社を設立、代表を務めてきた。以来、戦略コンサルティングと経営人材開発を概ね50-50の割合で行ってきた。のべ200社、大小あわせて2000の経営課題の指導、8000名の経営人材の開発に携わってきた。上場企業だけでなく外資系企業、中小中堅企業の経営支援、また、プライベートエクイティのM&Aの戦略的デューデリジェンスの支援なども豊富。ジェネラルマネジメントと戦略の経営コンサルタントとして活動してきた。





# ALセッションによる問題解決

チームで問題解決とナレッジの共有を同時に図る手法を活用し、自分自身の課題について内省しその解決策について考え、実行していきます。この一連を通じ、行動を通じた学習のサイクル（アクションラーニング・サイクル）を学び実践する科目となります。

モノトを俯瞰的・構造的に捉え、より本質的な問題点に対してチームで解決する能力を養成します。自分自身がリアルに直面する課題について、その本質を見極め突破するための知見を得ます。多様性を活かし合いながら協働で考え、新しい打ち手を実行する。この一連のビジネスを動かすサイクルを体感的に学びます。

自律的なメンバーが融合し一つの問題を解決していく。この一連の流れを生み出すチームワーク手法である「アクションラーニング」について体感的に学ぶことができます。ここでのチームの場をつくるリーダーの在り方は、次世代型リーダーのスタイルである「支援型リーダー」です。

「アクションラーニング」の経験を通じて、先端のリーダーシップについても学んでいただけます。アクションラーニングのセッションでは、これまで学んできた問題解決のスキル、対話（質問）のスキル、俯瞰的、構造的に問題解決を図るスキルなどが総合的に問われます。そのため、本大学院での学びの習得度合いを総合的にチェックすることができると考えています。このタイミングで自分自身のテーマや解決すべき課題についても大きく前進させることを期待しています。

ここでは、受講生1人ひとりの個別のテーマを扱い、チームで問題解決していくセッションを展開しながら、リーダーシップやチーム学習（ダイバシティ学習）を同時に学んでゆきます。各チームには、プロフェッショナルのアクションラーニングコーチが付き、学習と行動の質を最大化する経験を実際に持つことが出来ます。



前田 浩樹

Hiroki Maeda

合同会社 ミクスチュア  
代表執行役社長

合同会社ミクスチュア 代表執行役社長。

NEC（日本電気株式会社）に入社後、同社シンクタンクであるNEC総研。経営戦略や組織改革のコンサルティング。リーダー育成を中心とした人材開発、講師に従事。

固定的な枠組みの経営コンサルティング、企業研修 業界に一石を投じるべく、合同会社ミクスチュアを設立。「ビジネスモデル×心理学×クリエイティブ・ワークショップ」を高次に融合させた独自のメソッド『影響力の経営』を開発。

組織と人の“秘めたる力”を最大限に引き出し、変革させる実践者として日々奮闘している。

主な著書：『忙しすぎる社長の教科書』（ビジネス社）

LEGO®SERIOUS PLAY®メソッドと教材活用トレーニング修了認定ファシリテーター





お問い合わせ先

日本女子経営大学院 運営事務局

[info@wis-japan.org](mailto:info@wis-japan.org)

